

第 1 学年 算数科『たしざん』略案

指導者 中 村 寛 司

1. 日時 10月 30日(木) 2校時(9:20~10:05) 多目的教室

2. ねらい ○繰り上がりのあるたし算の確実な定着を図る。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
9:20	1. 算数博士とあいさつをし、算数博士の出すたし算の問題に答える。	・これまでの学習を振り返り、子どもたちの意欲を高めるようにする。	・たし算の問題を数問出題する。
9:27	2. 本時の課題を確認する。 くり上がりのあるたしざんを かんぺきにしよう		
9:30	3. 学習に取り組む。 ①計算練習(プリント)→自分で丸付け ②計算音読(10問程度)→半分の児童は中村へ 半分の児童は 指導主事の先生へ ※途中から③の指導をお願いします。 ③問題文作り→指導主事の先生へ 各自①→②→③の順番で取り組む。	・学習の流れを説明する。 ・子どもたちが自分で学習を進めることが出来るような環境作りをする。 ・自分で丸付けできるよう答えを教室に掲示しておく。 ・計算音読するプリントを準備しておく。 ・問題文作りをするための場面絵とプリントを準備する。	・計算音読をする児童の音読を聞き、励ましをする。 ・子どもたちの問題文を見て支援を行う。 (東京書籍80,81ページの絵を印刷して使いたいと思います。)
9:55	4. ふりかえりをして、発表する。	・できるだけ多くの児童が発表できるようにする。	・子どもたちの頑張りを賞賛する。